

国 語 科 学 習 指 導 案

平成17年6月24日(金)3校時
 1年 女子1名 男子1名 計2名
 2年 女子1名 計1名
 指 導 者 徳 田 か お る

- 1 単 元 1年 【学習材「いろいろなくちばし」光村上「しっぽのはたらき」かがくのとも傑作集】
 2年 本と 友だちに なるう 【学習材「スイミー」光村上】

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

第 1 学 年	第 2 学 年
<p>この期の児童はこれまでに、「はなのみち」の学習を通して、主人公の行動や疑問を追いながら楽しく読み取る能力や絵と文を対応させたり場面を対比させたりして話の筋をとらえようとする態度を身につけてきた。また、ひらがなの五十音を学習したことで、すらすら音読したり、主述の整った文章を書いたりしたいという願いを持っている。</p> <p>そこで、ここでは、子どもたちの興味・関心の高い鳥やその他の動物を題材にした説明文を取り上げ、写真や絵と文章を対応させながら、疑問や問題意識を持たせ、基本的な説明文の文型を理解させることをねらいとし、「いろいろなくちばし」「しっぽのはたらき」を設定した。</p> <p>教材「いろいろなくちばし」は、文と絵で問いかけをし、ページをめくって答えながら説明するという構成が三回繰り返される。そのため、児童は疑問を持ちながらクイズのように興味を持って読み進めることができる。また、「しっぽのはたらき」は、くちばしからしっぽへと視点を変え、発展的に取り扱うようにする。基本文型を繰り返し読む過程で、説明文に慣れ、1年生なりの論理的思考力を養いたい。</p> <p>このような学習は、話題・問題提示に対する答えと説明部分、説明が仕事とそのための仕組みという2つの要素で構成される学習へと発展していくものである。</p>	<p>児童はこれまでに、場面の様子を想像して劇化したり、心に残った場面の様子を絵や文章で書いて伝え合ったりして、読むことの楽しさを味わってきた。また、知らせたいことを読み手に分かるように書いたり話したりする学習を経験し、伝えることのすばらしさを実感してきた。</p> <p>そこで、本単元では、これまでの学習で培った力を生かして、話の想像を広げながら読んだり、おもしろい本を読んで1年生や家の人に知らせたりする楽しさを味わうことをねらいとし、教材「スイミー」を設定した。</p> <p>本教材「スイミー」は、仲間と外観の違うスイミーが、大きな魚によって大切な仲間を失った後、再び仲間を見つけ、最後は協力して大きな魚を追い出し、楽しく海の生活を続けていくというストーリーである。知恵と勇気を持って元気に生きていく姿は、児童の心を惹きつける。スイミーになりきって、恐怖感や孤独感、喜びや感動を味わうために、詩的な叙述についても触れ、表現上の特色を生かした学習活動も組み立てていきたい。</p> <p>この教材を読み取ることで、本単元後半のお話紹介の原動力となり、読書への興味・関心を高めることにもなると考えられる。</p>

(2) 指導の基本的な立場

第 1 学 年	第 2 学 年
<p>まず、「つかむ」段階では、問題意識を持たせるため、鳥について想像したことや推測することを自由に発表させるようにしたい。「なぜ」「どうして」という児童の発言を大切にしながら、本文に入るようにする。</p> <p>次に、「みとおす」段階では、計画したクイ</p>	<p>まず、「つかむ」段階では、読書への興味・関心が寄せられるように、関連図書を置くなど、教室の環境作りを工夫する。</p> <p>次に、「みとおす」段階では、粗筋がつかみやすいように、挿し絵を準備しておく。また、全文を通して「読みのめあて」を持たせる。そ</p>

<p>ズ大会を開くにあたって、基本文型を理解させたい。具体的には、「問い」と「答え」、「説明」の繰り返される文型を押さえ、視写や音読を通して今後の読みにつなげたい。</p>	<p>れらを生かして、音読にも力が入られるようにひとこと感想のカードを活用し、事前に家庭への協力をお願いしておく。</p>
<p>さらに、「しらべる」段階では、これまでの学習を生かして一人学びの時間を多く確保したい。そして、文のまとまりや句読点に注意しながら、音読・視写活動を関連的に行うようにする。また、児童の実態から発展的教材も取り扱いたい。「しっぽのはたらき」を提示し、類似する文型に気づかせ、抵抗なく読ませたい。</p>	<p>さらに、「しらべる」段階では、文中の表現を正しく押さえながら、「読んで理解すること」の楽しさを十分に味わわせることができるようにしたい。そのため、声に出して読む楽しさが継続できるように、聞き手をつくったり道具を自由に使ったりできるような環境を整えておくようにしたい。</p>
<p>「まとめる」段階では、学習したことを多くの人の前で伝える場を設定し、ことばによる表現の喜びや楽しさを味わわせたい。</p>	<p>「まとめる」段階では、本をより身近に感じさせるために、図書室で読む時間を与えることと、教室にある本も自由に手に取ることができるような雰囲気作りをしておきたい。</p>

(3) 児童の実態 (意識調査 平成17年5月25日実施)

第 1 学 年	第 2 学 年
<p>国語への興味・関心 < A 児 > ふつう < B 児 > とても好き</p>	<p>国語への興味・関心 < C 児 > とても好き</p>
<p>「読むこと」への興味・関心 < A 児 > とても好き < B 児 > 好き</p>	<p>読書への興味・関心 < C 児 > とても好き</p>
<p>クイズやなぞなぞの経験 < A 児 > ある < B 児 > ない</p>	<p>音読への興味・関心 < C 児 > とても好き</p>
<p>知っているクイズを書いてみよう。 で経験のある児童のみ。 < B 児 > りんりんりんりん これなあに</p>	<p>読んだ本の中で一番好きな本 < C 児 > かいけつゾロリシリーズ の本は、どんな話で、どんなところがおもしろかったか。</p>
<p>鳥についての知識 < A 児 > 鳥は、羽に筋肉がついているから飛べる。 < B 児 > 知っている鳥の名前 (うぐいす, とんび, はくちょう, からす)</p>	<p>< C 児 > ゾロリとイシシとノシシが旅をして、いろいろな人を助けるお話です。おもしろいところは、ゾロリのかっこうです。</p>
<p>1分間に文字を書く速さ ただし、「とめ」「はね」「はらい」などの約束をしっかり守ること < A 児 > 9 字 < B 児 > 21 字</p>	<p>好きな本を誰に紹介したいか。 < C 児 > 3・4 年生</p>
<p>【考察】 < A 児 > 国語への興味・関心は、「ふつう」と回答しているが、教師の発問に答えたり、読み深めたりすることは、大好きである。読書への興味・関心も深く、本の世界へ入り込み、集中して読むことができる。また、クイズについては、知識を生かした出題をすることが好きで、日頃から教師や友だちにいろいろな問題を出している。ただ、まだ書く活動を始めたばかりで、正しい文の書き方や文字を書く速さについては、これから身につけさせたい力である。したがって、抵抗なく正しく書くために、ワークシートへの記述や本文の視写を大切に扱いたい。 < B 児 > 国語へ興味・関心が深く、じっくり心を込めて読むことができる。少しの時間を見つけて本を読む姿もよく目にする。1年生なりに書く力も身につけてきた。</p>	<p>【考察】 < C 児 > 国語への興味・関心が非常に高く、読書好きである。文章のおおまかな内容をとらえたり、すらすら読んだりする力も身につけている。 また、日記を通して自分の気持ちや行動を表現する力も身につけてきた。ただ、作品自体の面白さは感じ取っていても、単元末テスト等では、文中の言葉で正しく解答せず、自分の言葉で書くなど一つの表現に気をつけながら読むという力に欠けている。そのため、上記アンケートでも、本の面白さとして、文章からではなく、挿し絵から選んでいるのではないかと思われる。</p>

日頃の学習活動から話の順序や登場人物の気持ちを考える力は持っているものの、時々文字を抜かしたり、文末を予想して読むこともある。したがって、ここでは「何を聞いているのか」「何と答えているのか」を読み取り、それらを正しく書く活動を大切にさせたい。

る。そこで、本単元では、一つ一つの文をじっくりと考えさせ、表現の面白さを実感させたい。また、発表の場は、本人の希望を生かして、3・4年生も集まる仲よし読書の時間を利用したい。

3 単元の目標

第 1 学 年	第 2 学 年
<p>生き物の形態と生活についての文を読むことを通して、国語学習への興味・関心を深めることができる。</p> <p>説明的文を読むことに慣れ、順序や内容を考えながら読むことができる。</p> <p>「問い」と「答え」、「説明」の文を理解し、語や文のまとまりに気をつけて読むことができる。</p>	<p>絵本を読むことの楽しさを味わい、好きな絵本を探して読もうとする。</p> <p>登場人物の気持ちや場面を想像しながら読むことができる。</p> <p>好きな本について、相手によく分かるように組み立てを考えて書くことができる。</p> <p>体言止め、倒置法、比喩などの表現を味わうことができる。</p>

4 指導計画

第 1 学 年 (全 8 時間)			第 2 学 年 (全 1 5 時間)		
次	時間	学 習 内 容	次	時間	学 習 内 容
一 つ か む	1	1 全文を読み、繰り返される文型を知る。 ・知っている鳥について発表する。 ・くちばしの違いについて知る。 ・「問い」と「答え」の形式になっていることを知る。 ・クイズ大会を計画する。	一 つ か む	1	1 全文を読み、感想をもつ。 ・お話「スイミー」を聞く。 ・挿し絵をもとに感想を発表する。 ・新出漢字や語句の確認をする。
		2 くちばしの特徴を理解する。 ・きつつきの部分を読み、問いのページを視写する。 ・答えのページを視写する。 ・写真と文を対応させる。			二 み と お す
二 み と お す	5	3 きつつきの特徴と関連させ、おうむとはちどりについても理解する。 ・問いのページを視写する。 ・答えのページを視写する。 4 P 5 1 の写真を見ながら、クイズを作る。 ・鳥の名前を知る。 ・教師の問題に答える。 ・画用紙に「問い」と「答え」を分けて書く。	三 し ら べ る	9	2 「読みのめあて」をもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら読む。 ・第1場面を読み、兄弟たちと楽しく暮らしている様子を読み取る。 ・第2場面を読み、スイミーの恐怖感や孤独感を読み味わう。 ・第3場面を読み、スイミーが次第に元気を取り戻していく様子を想像する (本時) ・第4場面の前半を読み取り、音読の仕方を考える。 ・第4場面の後半を読み取り、音読の仕方を考える。 ・第5場面を読み、大きな魚を追い出したスイミーや魚たちの気持ちを読み取る。
		5 関連教材を読む。(本時) ・全文を音読し、内容を理解する。 ・「問い」の文を理解する。 ・「答え」の文を理解する。 ・クイズカードに書いてみる。			三 し ら べ る
三 し ら べ る	6	6 前時のクイズカードの続きを仕上			

四 ま と め る	2	げる。 7 準備をし，クイズ大会をする。 ・役割分担をし，発表の練習をする。 ・クイズ大会をする。	四 ま と め る	4	3 全文を通しての音読発表をする。 4 おもしろい本を読んで周りの人に紹介する。 ・活動のあらましを知る。 ・図書室で「おもしろそうだな」と思う本を選んで読む。 ・本の紹介カードを書き，周りの人に紹介する。 ・夏休みの読書計画を立てる。

5 研究の視点との関連

(1) 直接指導の工夫

第1学年の「しらべる」段階では、「～ます。」(しっぽの様子)「なんのしっぽでしょう。」(問い)「です。」(答え)について押さえ，文で囲んだり，線を引いたりする学習の仕方も確認したい。これらの活動を丁寧に進めることで，次の「ふかめる」段階での一人調べに生かされるようにする。

第2学年の「しらべる」段階では，スイミーがだんだん元気を取り戻すきっかけになった「おもしろいもの」「すばらしいもの」を具体的に発表させ，教師が黒板に一つ一つ提示するようにしたい。また，どんなことが，「こわかった」「さびしかった」「かなしかった」のか，スイミーの気持ちになってペープサートを使い，教師に伝えさせたい。

(2) 間接指導の工夫

第1学年の「つかむ」段階では，読後に感想発表があることを念頭に読ませる指示をし，範読テープを用いて学習させる。「しらべる」段階では，文章構成をつかむキーワードを提示しておき，自力解決を心がけさせたい。

第2学年の「しらべる」段階では，表現の工夫を気づかせるために，拡大した絵や写真を掲示しておく。具体的には，今まで学習してきた文の書き方と違うところがはっきりわかるようにワークシートの工夫をする。また，分からない言葉については，ヒントカードを利用させる。「ふかめる」段階で声に出して読む場面では，ペープサートや小道具を準備し，表現のおもしろさを楽しみながら学習させたい。また，友だちのよさを生かせる活動ができないことから，昨年度の2年生の模範音読テープを聞き，読み方の工夫を深めさせたい。

(3) 学習過程の工夫

第1学年は，ガイド役の経験はしているものの，まだ確実に教師の指示を聞き取る余裕がないことから，全体の進め方の確認や一人学びの仕方を十分に理解させてから間接指導に移りたい。

第2学年は，学年1人であることから，教師だけでなく，1年生も一緒になって音読の工夫を評価できる時間を設定したい。

(4) 評価の工夫

第1学年では，範読を聞き，文中の言葉を使って具体的に感想発表できているか児童の発表によってつかむ。児童の言葉は，文章のおおまかな内容をとらえさせるキーワードになるかどうか判断したい。「ふかめる」段階では，文中の大事な言葉をおさえて読んだことを正しく書くことができているかクイズカードを利用して評価したい。

第2学年では，ワークシートの他に自己評価カードを利用した評価もしたい。また，音読練習の様子は，テープに録音して，自分の評価の材料とし，音読意欲を高めるようにする。

6 本時

(1) 目標

第 1 学 年 (4 / 8)	第 2 学 年 (5 / 1 5)
「しっぽのはたらき」に興味・関心を持ち、文章構成や大事な言葉を押さえながら読むことができる。	スイミーの気持ちの変化や表現のおもしろさを読み取り、進んで声に出して読むことができる。

(2) 指導に当たって

第 1 学 年	第 2 学 年
<p>「つかむ」段階では、これまでの学習活動を想起させながら、何を意図して範読を聞くのかしっかりと理解させておきたい。</p> <p>「みとおす」段階では、興味・関心を大切にしたいことから、児童の感じた言葉で自由に感想発表をさたい。</p> <p>「しらべる」段階では、「問い」・「答え」「説明」の文章構成がつかみやすいように、板書を工夫したい。また、これまでの学習よりやや文章の量が増えることになるが、楽しく読むことができるように挿し絵なども利用しながら進めたい。</p> <p>「ふかめる」段階では、教師がリズムを取り、構成を押さえることができるように間をおいて読んだり、句読点まで一気に読ませたりするなどして、自然な速さで読む方法を身につけさせたい。</p> <p>「まとめる」段階では、教科書の「いろいろなくちばし」から発展的に学習できたことに自信を持たせるような助言をし、次時の意欲を高めたい。</p>	<p>「つかむ」段階では、声に出して進め方の確認をさせ、自分の言葉でめあてを立てさせるなど、自分で課題意識を持たせるようにする。</p> <p>「みとおす」段階では、スイミーの気持ちが、「暗」から「明」へ変わるところに線を引かせ、学習のめあてに対する予想を立てさせる。</p> <p>「しらべる」段階では、表現された生き物をイメージしやすいように、図鑑や写真などを提示し、一つ一つの表現のおもしろさをじっくりと考えさせたい。また、スイミーの気持ちの変化をとらえさせるために、何が「こわかった」「さびしかった」「かなしかった」のか、なぜ元気を取り戻したのか、じっくりと考えられるよう丁寧な発問の仕方を心がけたい。</p> <p>「まとめる」段階では、感想を交えた簡単な評価カードを準備し、今後の指導に生かしたい。</p>

(3) 実際

過程	主な学習活動	教師の働きかけと評価	時間 (分)	主な学習活動	教師の働きかけと評価	過程
つかむ	1 進め方の確認をし、めあてを知る。 しっぽのはたらきをよんで、くいずをつくろう。	実態から、進め方やめあての確認は、教師と共に確認させる。	4	1 進め方の確認をする。	声に出して確認をさせる。 【言語事項】 新出漢字を正しく書く。 テスト用紙	つかむ
	2 前時を振り返り範読を聞く。	指示を丁寧にし範読テープを使って進めさせる。		3 前時を振り返り、本時のめあてを考える。 元気をとりもどしていくスイミーの気持ちを読みとろう。	できるだけ児童の言葉を使ってめあてを板書する。 めあてを意識しながら読ませるようにする。	
みとおす	3 初めて知ったことや感想を発表す	発表をもとに、おおまかな内容を		3 第3場面を音読する。		みとおす

し ら べ る	る。	とらえさせる。 【興味・関心】 「しっぽのはたらき」に興味・関心を持って読む。 発表・観察	6	4 表現のおもしろさを味わう。 (ワークシート) ・ 比喩表現 ・ 体言止め ・ 倒置法	写真や絵を提示し、想像を膨らませる。 【読むこと】 表現のおもしろさに気づいてまとめる。 ワークシート	し ら べ る	
	4 文の構成を知る (にほんざる) ・ 「問い」の部分 ・ 「答え」の部分 ・ 「説明」の部分	まず、「にほんざる」のしっぽを例にし、一人学びがスムーズにできるようにする。		5 スイミーの気持ちの変化を考える。 ・ 前場面の想起 ・ 変化の過程	文中の表現に着目させながら気づかせる。		
	5 他に出てくる動物についても、文の構成を考える。	線で囲むように指示する。 【読むこと】 「問い」と「答え」の文を理解する。 本のコピー	12	7 学習した場면을音読する。 ・ ペープサート ・ 紙芝居 ・ 模範テープ	意欲が継続できるように、好きなものを自由に選ばせて、表現を味わわせる。 【読むこと】 スイミーの気持ちの変化を意識しながら読む。 観察・テープ		
	6 構成を考えながら音読をする。 ・ 一人で ・ 役割を決めて	構成の理解が深まるように、で 区別した部分を意識しながら読ませる。	8	8 1年生に発表する。	板書をノートに書く。 【書くこと】 スイミーの気持ちを整理してまとめる。 ノート		
	7 2年生の音読発表を聞く。	2年生のよさを自分たちにも生かせるようにする。	8	9 学習したことをノートにまとめる。	第4場面の様子を挿し絵から気づかせ、場面のつながりを意識させる。		
	8 クイズカードに書いてみる。 本時は、1問選んで書く。	大事な言葉だけを書き抜かせる。 【読むこと】 「問い」と「答え」の文に分けて正しく書く。	3	10 自己評価をし、次時の学習場面を確認する。			
	9 本時のまとめをする。	クイズカード					
	10 ひらがなテストをする。	【書くこと】 ひらがな表を正しく速く書く。 おけいこノート					
	ふ か め る						ふ か め る
	ま と め る						ま と め る

(4) 評価

第 1 学 年 (5 / 8)	第 2 学 年 (5 / 15)
「しっぽのはたらき」に興味を持って読み、文章構成や大事な言葉を押さえながら、読むことができたか。	スイミーの気持ちの変化や表現のおもしろさを読み取り、進んで声に出して読むことができたか。

